

近江つけものに活かす デジタル化と生成AI

－ はじめの一步から実演まで－
【Web公開用ダイジェスト版】

2026年5月26日（火）16:30～18:00

逢坂山 かねよ本店 新館

滋賀県漬物協同組合 総会後研修会

講師：岡 実

オカピー・パートナーズ代表／中小企業診断士

セミナーのゴール

自社でも1つ試してみたい使い方をみつけて帰る

このセミナーは「使えそうな場面を見つける」セミナーです

漬物のお仕事に使えそうなお話だけします

事例とデモで、実際の使い方をお見せします

生成AI・デジタルを活かす3つの場面

漬物の仕事に使える3つの場面をご紹介します

- ①伝える — 商品の魅力を、もっと伝えやすくする
- ②対応する — お客様・取引先とのやりとりに使う
- ③広げる — お客様の声を活かし、経営の相談相手に



事例とデモで、実際の使い方をお見せします

生成AIは「賢い下書き係」

では、生成AIはどうやって手間を減らすのでしょうか？



検索エンジン

答えを探す

「日野菜漬とは」

→ 情報がたくさん出てくる



生成AI

たたき台を作る

「日野菜漬のPOPを書いて」

→ 文章が出てくる

正解を出す先生ではなく、まず「たたき台」を作るアシスタントです

生成AIの得意と苦手



得意なこと



商品説明文・キャッチコピー



要約・言い換え



アイデア出し



翻訳・多言語対応

苦手なこと



最新情報の確認



数字・商品名の正確な確認



法令・食品表示の最終判断



個人情報・社外秘の取り扱い

下書きはAI、確認は人

デモ ①

商品説明文を作ってみます

日野菜漬の商品説明文をChatGPTに作ってもらいます。
まずはざっくり頼んで、どうなるか見てみましょう。



書く

ここだけ注意



売り場POPやSNSのたたき台にはぴったりで

ただし

**食品表示（原材料・アレルギー等）は
AI任せにしない**

セミナーで扱う6つの使い方



書く

商品説明文



見る

写真→キャッチ



話す・訳す

多言語＋音声



返す

口コミ返信



整理する

口コミ分析



考える

経営の壁打ち

守ってほしい3つ



食品表示・法令はAI任せにしない

原材料・アレルギー・成分表示は必ず人が確認



秘密情報・個人情報は入力しない

試すときは架空の名前・仮の数字で



AIの出力は「たたき台」

最後は自分の目で確認。自社らしく直して使う

この3つを守ると、安心して試しやすくなります

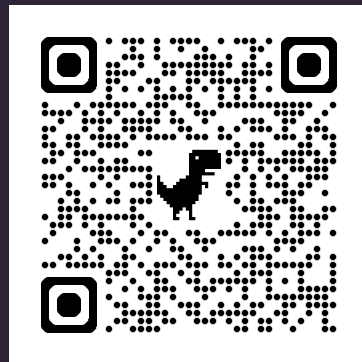
ありがとうございました

ご相談・お問い合わせはこちら

岡 実（オカピー・パートナーズ代表）

中小企業診断士

製造業のデジタル化・生成AI活用支援



minoru.oka@oka-pi.com

<https://oka-pi.com/>